

日越学長会議での基調講演について

URA 森下 麻紗代／G D&I 推進室 准教授 勝又 美穂子

令和 8 年 10 月 8 日（木）、第 4 回日越学長会議「日越学術連携の成果と将来への展望」が大阪大学コンベンションセンターにおいて開催されました。日越両国から併せて 70 近い大学の学長・副学長など代表者が一堂に会しました。

会議では、大阪大学総長ならびにハノイ工科大学学長の挨拶に続き、ベトナム教育訓練省副大臣のレ・クアン氏、駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使のファム・クアン・ヒエウ氏、文部科学省文部科学審議官の望月禎氏、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）理事長の橋本和仁氏による来賓挨拶が行われました。

その後、3 件の基調講演が行われ、接合科学研究所所長ならびに月面都市開発研究センター長を務める藤井英俊教授が、「Producing Oxygen on the Moon to Help Uncle Cuoi Survive」と題して講演を行いました。

講演では、ベトナムで広く親しまれている民話の主人公「クオイおじさん（Uncle Cuoi）」にまつわるエピソードを交え、月面都市開発研究センターが推進する研究シーズについて紹介しました。参加者は、宇宙開発と人類の将来を見据えた研究の可能性に熱心に耳を傾けていました。

接合科学研究所はこれまで、ハノイ工科大学内に国際連携拠点（HUST-UOsaka）を設置するなど、ベトナムとの学術交流を積極的に進めてきました。今後は、月面都市開発研究センターも加わることで、教育・研究の両面においてさらなる連携の発展が期待されます。



講演の様子